

## 2019年8月 キューバ情勢

### 【概況】

#### 1 内政

- (1) 閣僚評議会の開催
- (2) サービス業による外貨収入詳細の公表
- (3) 日本庭園再開園式の実施

#### 2 外交

- (1) ロサダ外務省二国間問題総局長のフィジー訪問
- (2) 米国国際開発庁（USAID）による医療従事者に対する人権侵害の調査への300万米ドル出資
- (3) ロサダ外務省二国間問題総局長の第50回太平洋諸国フォーラム出席
- (4) イランとの初のビジネスフォーラム開催
- (5) 広島、長崎への原爆投下と米国の軍事主義路線の非難
- (6) ベント・スポーツ体育レクリエーション庁（INDER）長官の訪日
- (7) ロサダ外務省二国間問題総局長の中国訪問
- (8) ロサダ外務省二国間問題総局長のロシア訪問
- (9) フリーランド・カナダ外務大臣のキューバ訪問

#### 3 要人往来

- (1) 来訪
- (2) 往訪

### 【本文】

#### 1 内政

##### (1) 閣僚評議会の開催

1日、ミゲル・ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長出席の下、閣僚評議会が開催され、都市計画、バラデロ観光整備特別計画、山塊整備の概要、最新のサトウキビ収穫量と今後の計画等について議論が行われた。

##### (2) サービス業による外貨収入詳細の公表

2日、キューバ国家統計局は、今般初めて、通信やホテル、医療等のサービス業による外貨収入の詳細を公表した。国家統計局の報告書によると、2018年の最大の輸出収入は医療サービスで64億米ドル、次いで「サポートサービス」が13億米ドル。その他、ホテル及び関連サービスが9.7億米ドル、通信7.2億米ドル、着陸料や港湾使用料などを含む輸送及びサポートサービスが計約6億米ドル。

### (3) 日本庭園再開園式の実施

28日、キューバ国立植物園内の日本庭園の再開園式が実施され、ディアスカネル議長のほか、ロベルト・オヘダ副議長、ミリアム・ニカド・ハバナ大学学長兼国家評議会議員、ホセ・サボリド高等教育大臣、アントニオ・トーレス県共産党第一書記、及びカルロス・ペレス国立植物園園長が出席した。在キューバ日本国大使館からは、藤村大使が出席した。

## 2 外交

### (1) 広島、長崎への原爆投下と米国の軍事主義路線を非難

ディアスカネル議長は、6日、自身のツイッターにて、「人類は、軍国主義、絶対的権力主義による歴史上の惨事を決して忘れてはならない。」旨発信。また、ロドリゲス外務大臣は、9日、自身のツイッターにて、「ヒロシマとナガサキへの原爆投下から74年経った今も、米国は新しい兵器や脅威を生み出し、すべての人々の平和を害している」旨発信した。

### (2) 米国国際開発庁（USAID）による医療従事者に対する人権侵害の調査への最大300万米ドルの出資

9日付当地「グランマ」紙によると、USAIDは、キューバ国内外におけるキューバ人医療従事者に対する、強制労働を含む人権侵害の調査、情報収集、分析のために、最大300万米ドルを出資することを発表。これに対し、ディアスカネル議長は、自身のツイッターにて、「米国にそのような権限はなく、倫理観もない。一貫して嘘と中傷を行っているに過ぎない。」旨述べ、キューバによる医療協力の価値について、「連帯、人道、協力の例であり、第三世界の諸国において正当である」旨強調した。

また、29日、キューバ外務省は、米国の行為を非難する旨の声明を発表した。

### (3) ロサダ外務省二国間問題総局長のフィジー訪問

9日、エミリオ・ロサダ外務省二国間問題総局長は、Yogesh Jitendra Karan フィジー内閣事務次官と会談した。双方は、これまでの二国間関係の発展を再確認し、今後の関係拡大と強化の可能性について一致した。Jitendra Karan 事務次官は、キューバによる、フィジーでの健康分野の若手専門家の育成支援に謝意を述べた。

### (4) イランとの初のビジネスフォーラム開催

10日、キューバ・イラン外交関係樹立40周年を記念して、キューバ・イラン間の初のビジネスフォーラムがテヘランで開催された。キューバからは、アレクシス・バンドリッチ駐イラン・キューバ大使、イランからは Hossein Selahvarzi 商工会議所副会頭が出席した。本フォーラムには、約60社のイラン企業が参加し、米国による両国に対する制裁が、貿易・協力分野における共通の関心を特定するための機会であることで一致した。

(5) ロサダ二国間問題総局長の第50回太平洋諸国フォーラム出席

12日から16日の間、ロサダ二国間問題総局長は、第50回太平洋諸国フォーラムに出席した。フォーラム期間中、同総局長は、Dama Meg Taylor 同フォーラム事務総長、Tedros Adhanom 世界保健機関局長、Soroi Eoe パプア・ニューギニア外務大臣、Jeremy Manele ソロモン諸島外務大臣、Ralph Regenvacy バヌアツ外務大臣と会談した。

この関係で、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣は、12日、自身のツイッターにて、「キューバは、太平洋諸国との友好的協力関係を重視しており、同フォーラムへのキューバに対する招待に感謝している。その証としてキューバは積極的に参加している」旨発信した。

(6) ベント・スポーツ体育レクリエーション庁 (INDER) 長官の訪日

7日から23日にかけて、オスバルド・ベント INDER 長官は、オリンピック選手団団長セミナーに出席するために訪日し、鈴木スポーツ庁長官他と会談した。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに関し、キューバが参加する場合の選手団の受け入れ場所について、キューバ側は仙台市、多賀城市、東松山市、仙台育英高校及び大東文化大学との間で覚書に署名した。

(7) ロサダ二国間問題総局長の中国訪問

8月19日から20日にかけて、ロサダ二国間問題総局長は中国を訪問し、鄭澤光 (Zheng Zeguang) 外交部副部長を表敬した。鄭副部長は、キューバと中国は友人、仲間、兄弟であり、不変の協力を通じて二国間関係を新しいレベルに上げる旨強調し、米国のキューバに対する一方的な制裁への拒絶を再確認した。キューバ側からは、二国間関係が素晴らしい状態にあることや、両国の外務省間の関係及び表敬に先立ち局長レベルで開催された共通の関心事項に関する会合に対して満足していることを強調し、2018年11月に両国の国家元首間で合意されたように、中国・キューバの二国間関係を最上級のレベルまで強化していくことを確約した (キューバ外務省報道発表)。

キューバ外務省は、今次訪問について、ツイッターにて、キューバは「一帯一路」の中南米への拡大を好意を持って受け止めている旨発信している。

(8) ロサダ二国間問題総局長のロシア訪問

21日から23日にかけて、ロサダ二国間問題総局長はロシアを訪問し、Alexander Kinschak 北アフリカ・中東局長と会談した他、Alexei Labetski 中南米局長代行、Alexei Ovchinnikov アジア太平洋協力局長、Andrei Kemarski サブサハラ・アフリカ局長、Serguei Riabkov 外務副大臣、Mijail Bogdanov 外務副大臣と面会した。

(9) フリーランド・カナダ外務大臣のキューバ訪問

29日、クリスティア・フリーランド・カナダ外務大臣がキューバを訪問し、ディアスカネル議長を表敬した他、ロドリゲス外務大臣と会談した。ロドリゲス外務大臣は、カナダ政府によるヘルムズ・バートン法適用に対する立場及び例年の国連総会における経済封鎖への反対決議への支持に謝意を表明した。また、両外相は、ベネズエラ情勢を含む国際情勢及びアマゾン地域における環境緊急事態等についても意見交換を行った。

3 要人往来

(1) 来訪

フリーランド・カナダ外務大臣

(2) 往訪

ロシア外務省二国間問題総局長のフィジー、中国及びロシア訪問  
ベント・スポーツ体育レクリエーション庁 (INDER) 長官の訪日